

しろやま



病院理念

城山病院は患者さまのために存在します

2024年1月号

医療法人春秋会 城山病院

大阪府羽曳野市はびきの2-8-1

TEL 072-958-1000

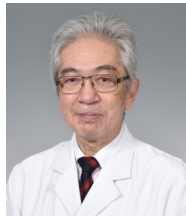
編集・発行 情報システム課

Vol. 79



SPECIAL

2023年の城山病院の活動について



城山病院 院長

石橋 孝嗣 医師

新年あけましておめでとうございます。城山病院の2023年(以下「昨年」と記します。)の活動報告をさせていただきます。

地域医療支援病院として

昨年4月に大阪府から地域医療支援病院の認定を受けました。地域医療支援病院とは、文字通り地域において急性期医療を支援する立場にある病院ということです。

そのための条件として①地域の皆様のかかりつけ医であるクリニックとの連携を深め、急性期医療が必要な患者様を紹介いただき、治療後は元のクリニックで診ていただくこと、②地域の医療関係者に向けた教育・研修活動を積極的に行い地域全体で医療の質向上を図ること、などの条件を満たし、そして、なによりも地域住民の方々や医療関係者に信頼される病院であることを求められています。私たちはより一層その役割を果たしていく所存です。

ダヴィンチによるロボット支援手術をスタート

2022年12月にロボット支援手術を行うため「ダヴィンチ」を導入いたしました。患者様にとって、より低侵襲で安全な手術を提供できる体制になりました。このロボット支援手術は、今までに、消化器外科では大腸癌や胃癌、ヘルニアに対して計78例、泌尿器科では前立腺癌に対して14例行いました。

TAVI(経カテーテル大動脈弁置換術)をスタート

TAVIは大動脈弁狭窄症に対する治療法で、身体に負担の大きい開胸ではなく、カテーテルを用いて大動脈弁を置換する方法で、より低侵襲で安全な治療法です。当院では4月よりこの手術を開始し、今までに10例行いました。

救急医療体制の強化

昨年の9月より、救急外来の医師体制を常勤医2名と非常勤医と

で日々4~5名配置し、看護部門も外来統括化して強化しました。さらに救急隊との連携を強めることで、救急車の搬送数も増加してきており、後の表でも示す通り、ここ最近では月に400~450台を受け入れる状況となっています。

第三者評価(第2ラウンド)の受審

日本医療機能評価機構より2019年4月に病院機能評価認定を受け、昨年の11月には2回目の実地調査を受け、その評価に基づき当院がより一層進化していくべく、職員一同努力してまいります。

診療実績と職員数

昨年と一昨年の診療実績を別表に示します。

地域医療支援病院として外来患者数は救急車受入件数が増加したものの若干減少傾向がみられ、診察から治療をする場として適正化してきており、入院患者数、手術件数を増加させる要因となっています。

当院の職員は、2023年12月1日現在で総職員数843名です。その内訳は、医師 常勤62名、非常勤111名、看護師358名(このうち認定看護師8名)、診療技術職員183名【リハビリ療法士83名、薬剤師14名、診療放射線技師27名、臨床検査技師23名(このうち視能訓練士3名)、臨床工学技士25名、管理栄養士11名】、事務職員105名と、多職種混合の医療の質向上にかかる職員(QMC 医療安全、感染制御、入院支援、地域連携に携わっています)24名となっています。2024年は、この843名が、当院の理念である「城山病院は患者様のために存在します」のもと、多職種一丸となり、患者様を中心としたひとつのチームとなって診療を行ってまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

	2021.11月~ 2022.10月	2022.11月~ 2023.10月
入院患者数	91,929	96,697
外来患者数	134,983	129,407
手術件数	3,741	4,298
救急車受入件数	4,079	4,514

城山病院 ロボット手術が100例を達成しました

2022年12月にロボット手術センターを開設し、消化器外科では大腸がんや胃がん、泌尿器外科では前立腺がんに対してダヴィンチXiを用いて手術を行ってきました。

2023年12月14日に城山病院で行われたロボット手術が100症例を突破し、手術ロボットの開発元であるINTUITIVE社より盾を頂きました。看護師や臨床工学技士など多職種で協力しながら手術を行い、ロボット手術センターを開設してから約1年で達成できました。ロボット手術は、患者様の負担が少なく治療を行うことができ、入院期間も短いことが特徴です。

これからも患者様にとって身近な病院であり、高度な医療を提供できる病院として努力してまいります。



診療科	ロボット手術センター 医師	
消化器・乳腺センター	センター長	新田 敏勝
	副センター長	石井 正嗣
泌尿器科	副センター長	小山 耕平
	副センター長	松永 知久



詳しくはQRコードより
城山病院ホームページを
ご覧ください



がんサロン「白鳥の会」を開催しました



11月28日に、がん患者サロン『白鳥の会』を開催しました。今回は、「がんと食事」というテーマで、管理栄養士の山元さんより講演を行って頂きました。人が生きていく上で、食事は欠かせないことの一つです。がんの患者さんは、がんという疾患だけではなく、糖尿病や高血圧など様々な病気を抱えている方も多いです。また、手術をしたあとや抗がん剤治療をしている患者さんは、食事の方法、食事に時間をかけること、避けた方がよい食べ物もあつたりして、「食べるのがしんどくなった」「前みたいに食べられないのがつらい」という言葉も耳にします。また患者さんを支える家族も、「食べないと元気にならない」「しっかり食べてほしい」と、食べられない患者さんに対して、こう願うことも多いです。

今回、食事の工夫や食事に対する疑問に、山元さんがズバリお答えくださいました。山元さん自身の食生活も紹介しながら、笑いがいっぱいのがんサロンとなりました。

家族外来が開設されました

家族外来とは・・・

大切な方ががんの治療を受けている方や、慢性疾患などの診療を受ける中でご家族も辛い気持ちを抱えながら、日々患者さまと関わっている方が多いと思います。家族外来では、このような患者さまを支える家族の方のお話ができる場として、家族外来を行っています。

診療対象者・・・

当院かかりつけの患者さまのご家族またはご遺族

受診を希望する方へ・・・

外来窓口または電話で「家族外来の希望」と伝えてください。担当者より、相談者さまのご依頼内容をお聞かせ頂き、予約をとらせて頂きます。受診に悩んでいる方も、一度ご連絡ください。受診の流れについてご説明させていただきます。

詳しくはQRコードよりホームページをご覧ください



しろやまハイブリット研修会ご案内(医療従事者向け)

血流感染と血液培養検査 ～血液培養検査はなぜ2セット採取が必要なの？～

先に血液を入れるのは青ボトル？黄色ボトル？皆様の疑問にお答えします！

日程：2024年1月17日(水) 17:30～18:15
ミーティングID:862 1105 4187
パスコード:809361

ZOOM参加
QRコード



足部疾患に対する理学療法

足部疾患の特徴や、評価のポイント、優先すべき治療についてお話しします！

日程：2024年2月2日(金) 17:45～18:30
ミーティングID:845 8637 2915
パスコード:921610

ZOOM参加
QRコード



「病気のお話」ページが見やすくなりました

毎月ホームページにアップしているふれあい新聞「病気のお話」を見やすく致しました。

気になる病気のことや診療科などについて先生にインタビューをして掲載しています。城山病院で受けることのできる最新の治療情報や身体に負担の少ない治療法など様々な情報を毎月掲載していますので、是非ご覧ください。

また、毎月第一水曜日に発行される、「ふれあい新聞」の第3面に毎月城山病院特集記事を載せておりますので、そちらの方も是非ご覧ください。

※こちらの記事は発行元の許可を得て掲載しております。

城山病院「病院のご案内」
ふれあい新聞(病気のお話)をご覧ください。
QRコードからも見て頂くこともできます。

